



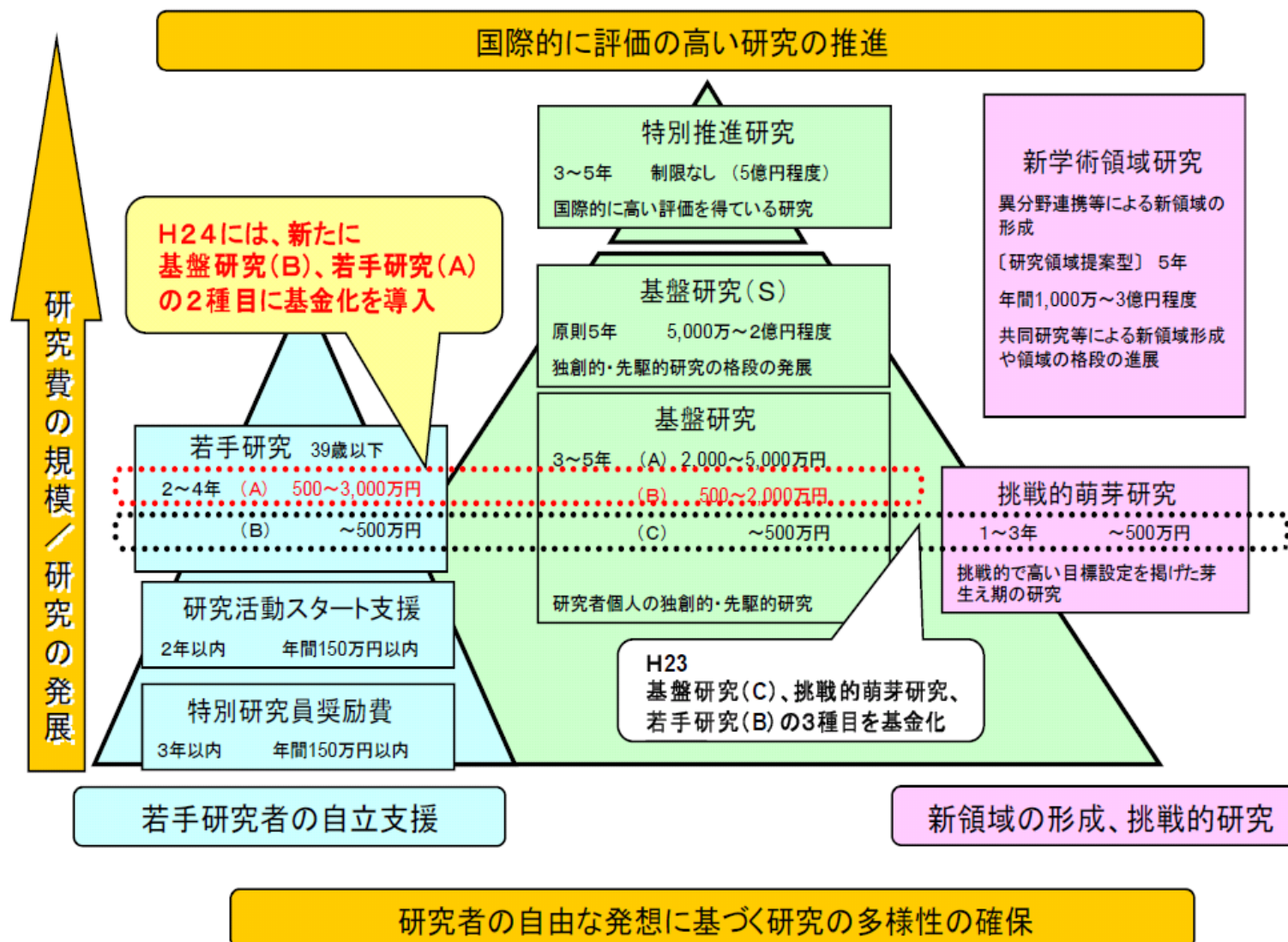
科研費制度の概要について

法学部科研費説明会

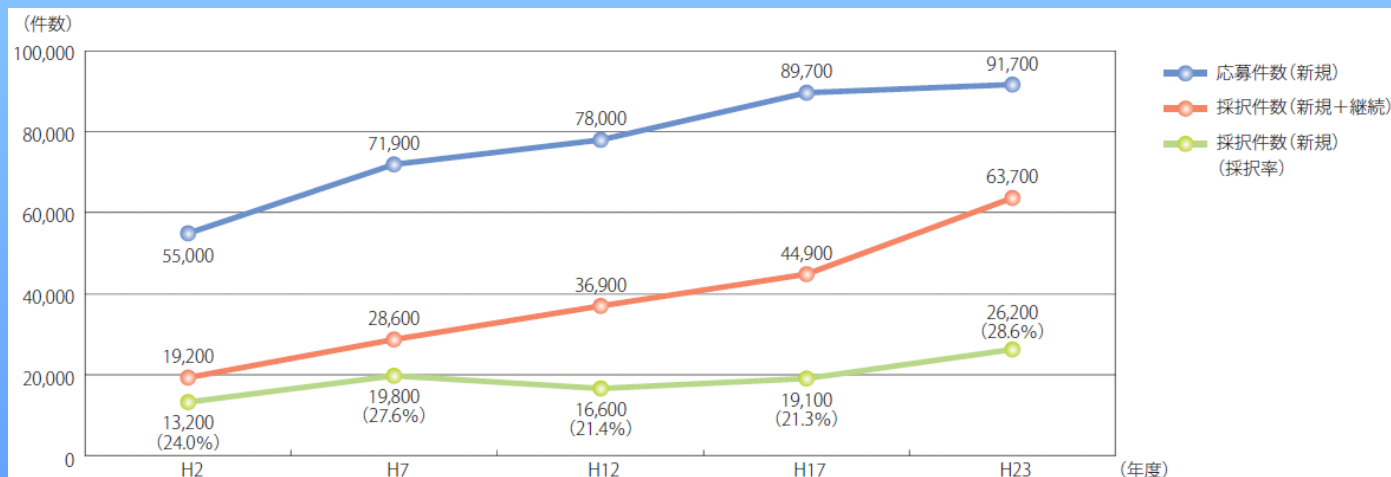
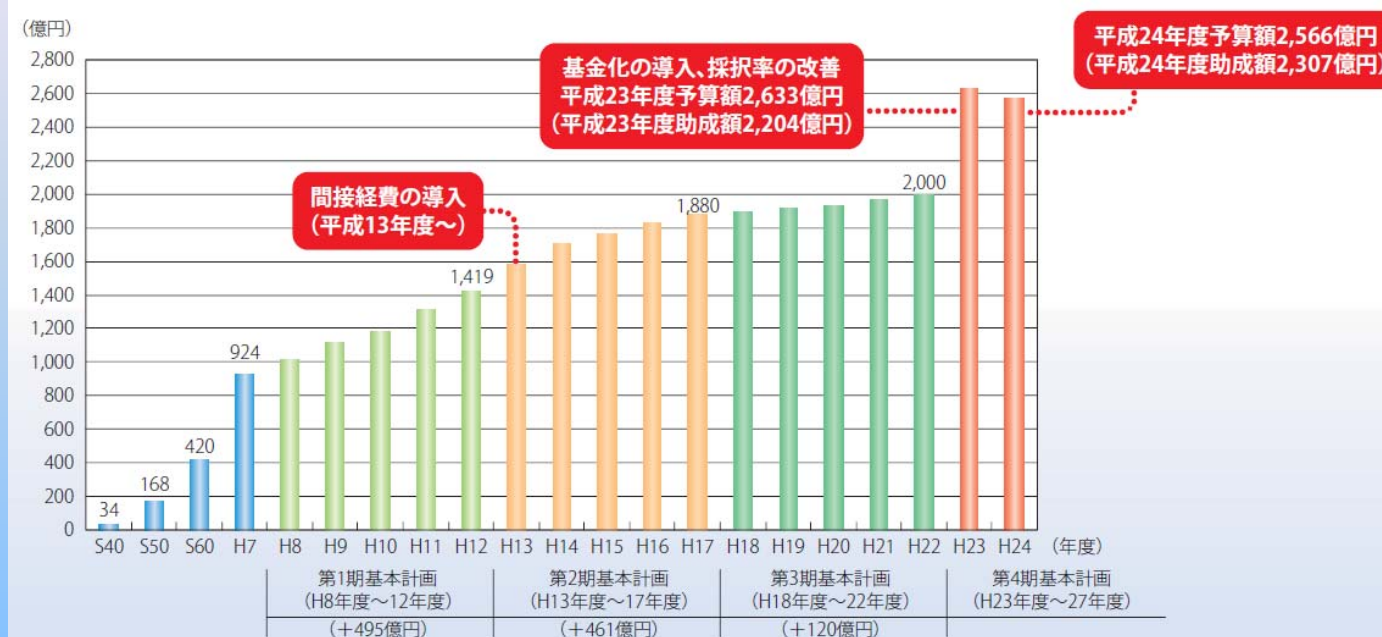
2012. 9. 4

研究企画推進課

研究種目の構成



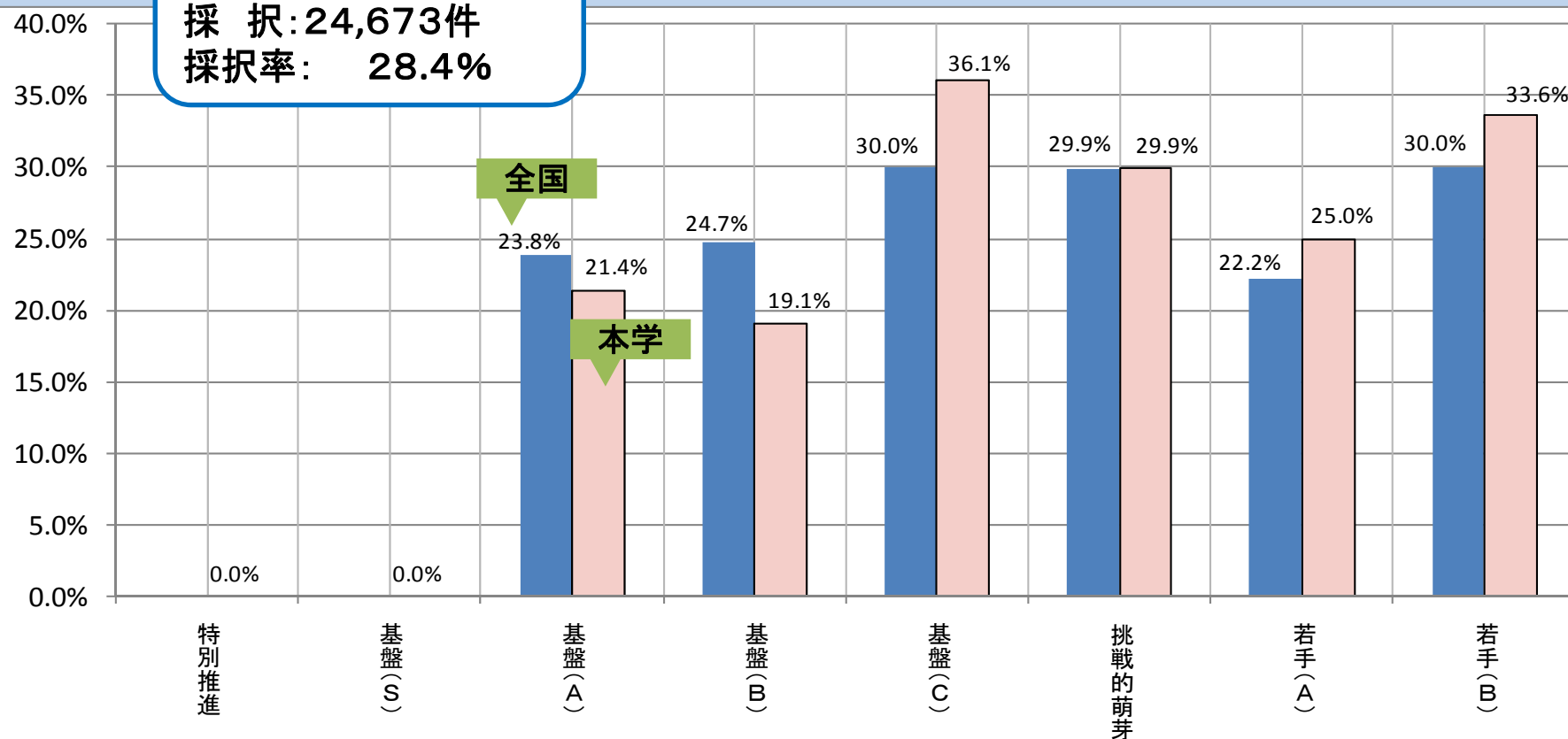
科学研究費の予算の推移





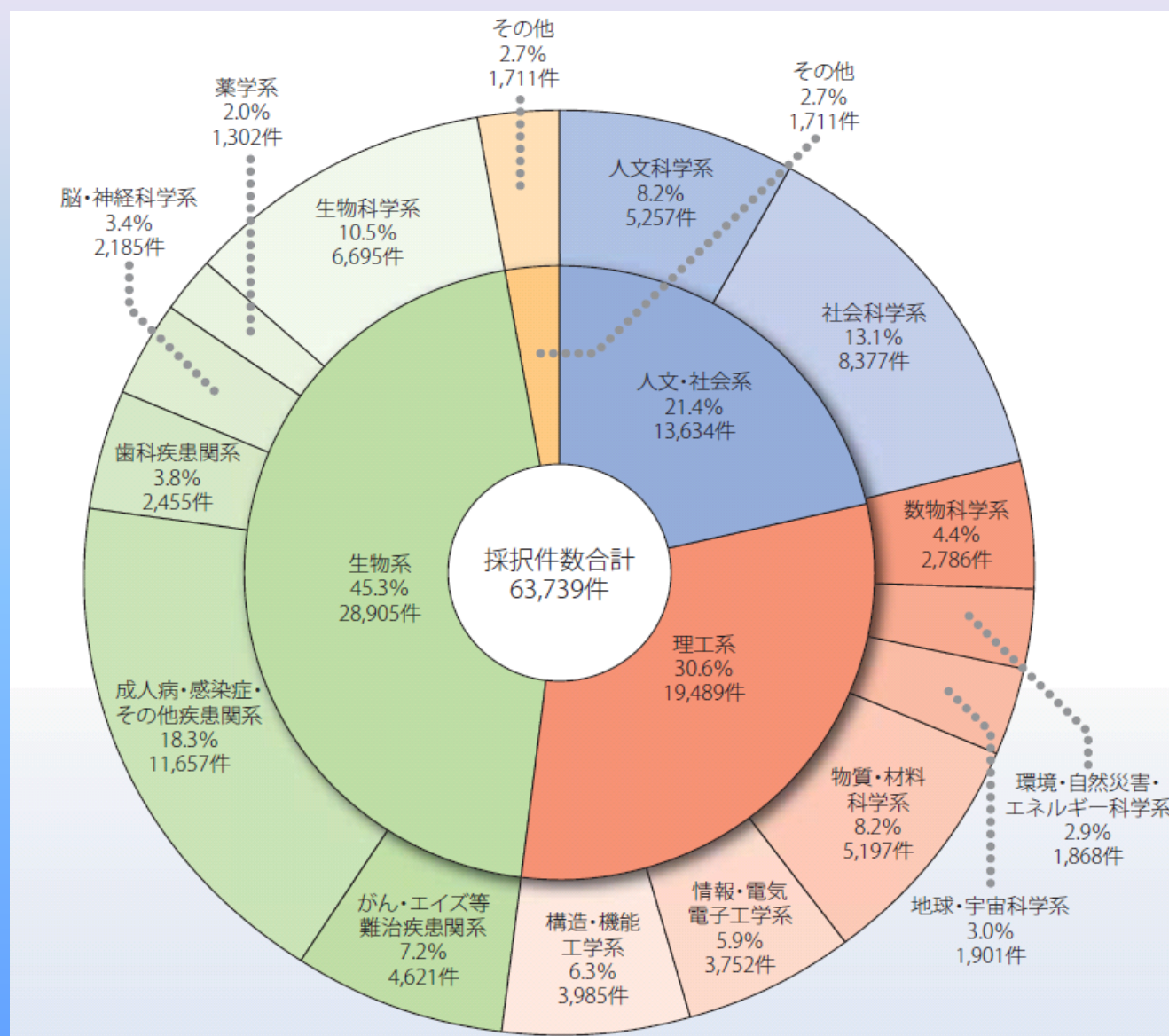
平成24年度 科学研究費助成事業配分状況(新規採択分)

全国(科研費全体)
応募: 86,874件
採択: 24,673件
採択率: 28.4%

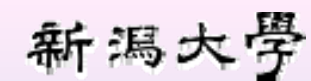




研究分野別の採択件数(平成23年度 新規+継続)



※ 平成23年度科学研究費のうち、「奨励研究」を除く研究課題(新規採択+継続分)及び「学術創成研究費」の当初配分について分類したものです。



平成24年4月現在

平成29年4月現在													
分野名	分科名	細目名	細目 番号	応募 採択	基盤(A) 一般	基盤(A) 海外	基盤(B) 一般	基盤(B) 海外	基盤(C) 一般	挑戦の 萌芽	若手(A)	若手(B)	計
社会科学	法学	基礎法学	3401	応募	3	0	15	1	48	8	0	29	104
				採択	1	0	5	0	15	3	0	10	34
		公法学	3402	応募	4	0	12	0	73	11	0	48	148
				採択	1	0	3	0	25	4	0	19	52
		国際法学	3403	応募	4	0	3	1	33	6	0	24	71
				採択	1	0	1	0	11	2	0	8	23
		社会法学	3404	応募	3	0	7	0	31	2	0	21	64
				採択	1	0	2	0	10	1	0	7	21
		刑事法学	3405	応募	1	0	11	0	26	5	1	32	76
				採択	1	0	4	0	9	2	0	12	28
		民事法学	3406	応募	4	0	10	3	94	12	0	81	204
				採択	1	0	3	1	32	3	0	30	70
		新領域法学	3407	応募	6	0	12	1	36	11	0	26	92
				採択	2	0	4	0	12	4	0	9	31
	政治学	政治学	3501	応募	4	4	45	6	117	19	2	71	268
				採択	1	1	13	4	39	6	1	24	89
		国際関係論	3502	応募	8	1	28	10	78	19	2	74	220
				採択	2	0	8	3	26	7	1	24	77



科学研究費補助金の審査方法

〔第1段審査〕

4名又は6名の審査委員が専門的見地から個別に審査を実施

- ・ 基盤研究（A・B：一般） 6名
- ・ 基盤研究（C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B） . . . 4名

評点分布 5: 10%、4: 20%、3: 40%、2: 20%、1: 10%

総合評点イメージ

6名の場合	5	5	4	5	4	3	4.3
4名の場合	5	4	4	4			4.3

〔第2段審査〕

第1段審査結果を基にして、広い立場から総合的に必要な調整を行うことを主眼として、小委員会において合議により審査実施

- ・ 専門分野ごとの小委員会、12名～28名程度で構成
- ・ 小委員会には、分科単位（人文社会系のみ細目単位）で複数（2～10名）の審査委員を配置

※その他審査方法

- ①ヒアリングを実施：特別推進研究、基盤研究（S）
- ②同一審査委員が個別審査、合議審査を実施：
基盤研究（A・B）（海外学術調査）、研究活動スタート支援、奨励研究、研究成果公開促進費

基金化のメリット

◆研究の進展に合わせた研究費の前倒し使用が可能

これまでの科研費制度では、研究に思わぬ進展があっても、その年度に交付された補助金の範囲内でしか研究費を使用できなかった。



科研費（基金分）では、翌年度以降に使用する予定だった研究費を前倒しして請求することにより、研究の進展に合わせた研究費の使用が可能。

◆次年度における研究費の使用が可能

研究者は、会計年度を気にすることなく研究を進めることができ、未使用分の研究費については、次年度以降に使用することが可能。

補助事業期間内であれば、前年度に発注した物品を翌年度に納品することや、翌年度に係る出張経費の支出が可能。

基金化の対象

基金化の対象は、

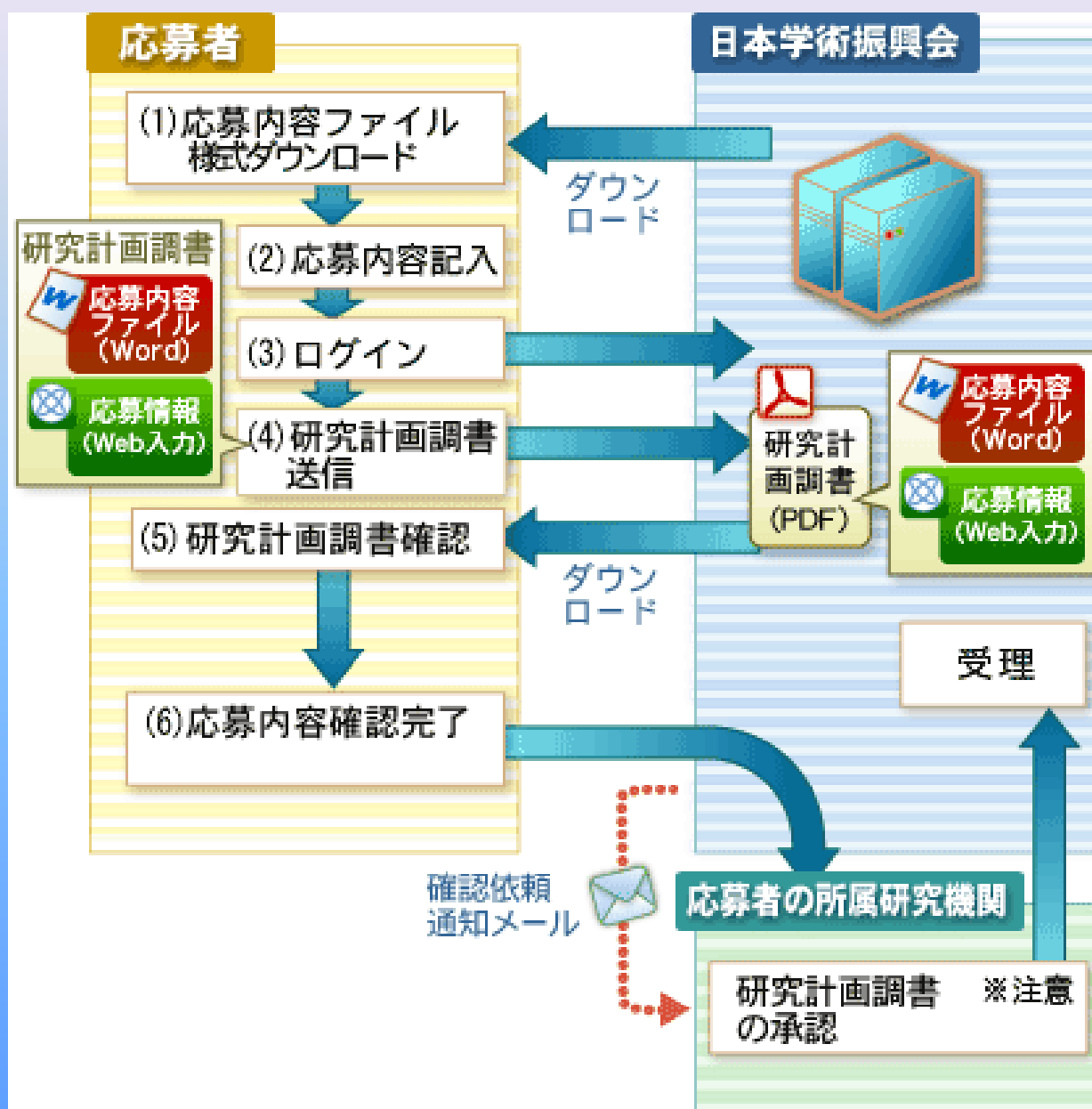
- 「基盤研究（C）」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究（B）」
のうち、平成23年度以降に新たに採択された研究課題
 - 「基盤研究（B）」、「若手研究（A）」
のうち、平成24年度以降新たに採択された研究課題
（研究費総額のうち500万円以下）
- ⇒ 1 研究課題ごとに研究費総額のうち500万円までは助成金、
500万円を超える分は補助金が交付されます。



共用設備の共同購入

平成24年度より、研究費の効率的な使用及び設備の共用を促進するため、複数の科研費やその他の経費を合算して共用設備を共同で購入できるようになりました。

電子申請システムを用いた応募





入力画面サンプル

TOP画面のみWebからの
項目入力
次ページ以降はシステム
によるワープデータの
吸込み処理
(自動PDF化)

応募情報(Web入力項目)画面イメージ【若手研究(A)(B)】

eRad 独立行政法人日本学術振興会
科学研究費補助金事業電子申請システム

ヘルプ ログアウト

応募情報入力 画面を表示してから29分経過

最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 複数ウィンドウ(複数タブ)を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

→ 一時保存をして次へ進む 一時保存 保存せずに戻る

平成23年度(2011年度)若手研究(AB) 研究計画調査

新規・継続区分 *

細目番号 *

分割番号 *

分野 *

分科 *

細目 *

細目表キーワード *

細目表以外のキーワード *

研究代表者氏名 (フリガナ)ダイヒョウ イチロウ
(漢字等)代表 一郎

年齢 XX才 (S. XX年 XX月生まれ)

所属研究機関 (番号)99999 AAA大学

部局 (番号)999 ○○部 (その他の番号を使用した場合は記入)

職 (番号)28 助教 (「研究員」「その他」を選択した場合は記入)

学位 *

現在の専門 *

エフォート *

研究課題名 *

画面を表示してから29分経過 一時保存

【研究経費(千円未満の端数は切り捨てる)】(0の場合も記入すること。)

年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
		設備備品費	消耗品費	旅費	謝金等	その他
平成23年度	0	0	0	0	0	0
平成24年度	0	0	0	0	0	0
平成25年度	0	0	0	0	0	0
平成26年度	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	0	0	0

開示希望の有無 *

画面を表示してから29分経過 一時保存

応募内容ファイル選択

記入した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。

参照

- 応募内容を修正する場合は、修正済みの応募内容ファイルを選択しなおすと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- 応募内容ファイルに修正がない場合、応募内容ファイル選択欄は空欄のままでも構いません。
- 応募内容ファイルについてはWordファイルの代わりにPDFファイルを選択することも可能です。(PDFファイルは応募内容ファイル様式(Word又は本会並びに文部科学省が提供する様式)を基に作成したものに限りです。)

→ 一時保存をして次へ進む 一時保存 保存せずに戻る

ログアウト

新潟大学

最後に、

課題名，分科・細目，研究目的，
研究計画 を記載したドラフト版を

○ シニアアドバイザーに見てもらって
ください。

過去例では、採択率が上がっています。



想いがこもった応募を
お待ちしております。

科研費応募に係る本学のホームページ

研究・産学連携・国際交流 >

特色ある研究と研究支援制度 >

科研費応募関係